

特別支援教育専攻

●専攻の教育理念と教育目的

本専攻には、特別支援学校教育専修(2年制)と特別支援教育コーディネーター専修(1年制)の2専修があります。それぞれ学士課程で培った資質能力を基礎とし、特別支援教育に関する高度な実践力のある指導者の育成を目的としています。

そのため、学生は、特別支援教育に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ、特別支援教育に関して高度な専門的知識を習得し、それをもとに特別支援教育をめぐる現代的諸課題への対応方を適切に考え、高い技能と豊かな表現力をもって教育活動に取り組む力を培います。

●専攻のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、修了時必ず身につける能力)

<知識・理解>

1. 特別支援教育に関して高度な専門的知識を習得している。

<技能>

2. 特別支援教育にかかわる高い技能を身につけている。

<思考・判断・表現>

3. 教育をめぐる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方を適切に考え、高度な実践力をもって教育活動に取り組むことができる。

<関心・意欲・態度>

4. 学校に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習し研究する高度な教育実践力をもった専門的職業人として、自己の使命と責任とを自覚し、自主的に社会に貢献しようとする。

●専攻のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

特別支援教育専攻には、特別支援学校教育専修、特別支援教育コーディネーター専修の2つの専修があります。

特別支援学校教育専修は、特別支援教育、障害児・者福祉、保健医療福祉の現実的諸問題に適切に対応できる実践的スキルをもった教員、臨床家の育成を目的としています。そのため、教育や心理、保健医療福祉に関する基礎知識を有し、特別支援教育に関する諸問題を多角的な視点から分析・解釈し、問題解決に向けて柔軟に対応できる人を求めています。

特別支援教育コーディネーター専修は、幼稚園、小・中学校、高等学校の通常の学級に在籍するLD、ADHD、高機能自閉症などの特別な教育的支援を必要とする児童・生徒に対応する特別支援教育コーディネーターの育成を目的としています。教育・心理・医学に関する専門的知識を学習するとともに、実習を通して教育現場の現実的諸問題に対応する柔軟な実践力を養います。そのため、特別支援教育に携わる教員・実践家、特別支援教育の諸問題について探求したい人を求めています。

●専攻のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムの概要

専攻の共通基礎科目として、すべての障害に共通した課題を扱う「特別支援教育総論」と「言語・コミュニケーションの指導」が設定されています。

特別支援学校教育専修では、聴覚言語障害領域を主とする科目群と、発達障害領域を主とする科目群とが用意されており、どちらかを主に履修します。専門科目の学修と、それを研究・実践活動を通して発展させた成果を「課題研究」を通して修士論文に結実させます。

特別支援教育コーディネーター専修では、学校教育の現場で特別支援教育コーディネーターの職務を遂行する上で必要な知識やスキルに関する専門科目の学修とともに、小学校・中学校で毎週1回の現場実習を行い、そこでの実践・研究活動を通して発展させた成果を「課題研究」を通して修士論文に結実させます。